

みんなの個性が 輝くまちへ

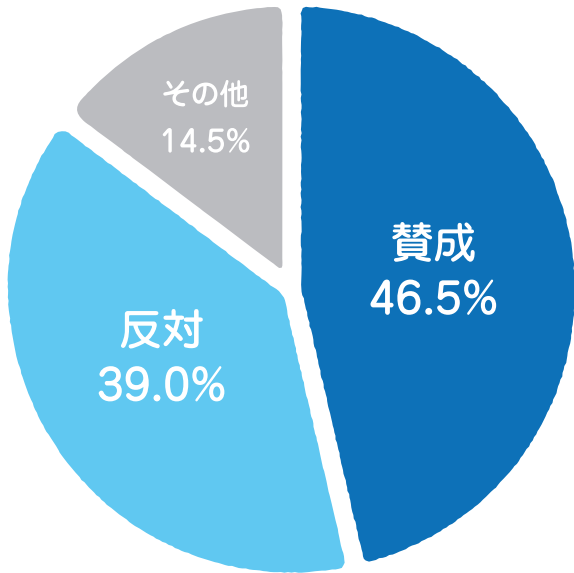
～進めよう 男女共同参画～



男性も女性も、性別にとらわれず、自分の意思でいろいろな活動に取り組んだり、共に責任を担ったりすることを**男女共同参画**といいます。男女共同参画を進めることは、みんなが生き生きと豊かに暮らし、より良いまちをつくることにつながります。男女共同参画が、私たちの生活とどのように関わっているのか、家庭や職場など、身近なところから考えてみましょう。



「男性は仕事、女性は家事や育児」賛成それとも反対?



「外で働いてお金を稼ぐのは男性」「家の中のことや子育てをするのは女性」という性別で役割を分ける考え方について、札幌市民に聞いたところ、「賛成」(9.1%)と「どちらかといえば賛成」(37.4%)が合わせて46.5%、「反対」(14.3%)と「どちらかといえば反対」(24.7%)が合わせて39.0%となり、約半数が賛成と答えています。

札幌市「男女共同参画に関する市民意識調査」(2011年)

「男性だから」「女性だから」性別だけで判断していませんか?

「リーダーは男性」「サポート役は女性」などと性別で役割を決めたり、相手のことをよく知らないのに、「男性だから機械に詳しいはず」「女性だから料理が得意なはず」などと思い込んでいませんか?

「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」と、他に理由もなく性別だけで判断されて、自分がやりたいことや得意なことができなったり、反対に苦手なことを押し付けられたりしたら、皆さんはどう感じるでしょう。

男性か女性かという違いだけではなく、一人ひとりの気持ちや個性、能力に目を向けてみることも大切です。

